



広報

ほほえみ

<http://www.sihp.jp> E-mail info@sihp.jp 〒399-4117 長野県駒ヶ根市赤穂3230番地 TEL0265-82-2121(代) FAX0265-82-2118

心大血管疾患 リハビリテーション 始まりました

リハビリテーション技術科 理学療法士 北澤 郁美

寒くなりましたね！！

皆様のご家庭のトイレや、お風呂には暖房設備がありますか？温かい部屋から急激に寒いところに出ると血管が収縮していろいろな病気を引き起こします。また寒いところから、急に熱いお風呂に入って血管が拡張し、血圧が下がって意識がなくなったりもします。「体にやさしい温度管理」が必要になりますね。

さて、当院では心筋梗塞を起こした患者様や心臓の手術を受けた後の患者様のために心大血管疾患のリハビリテーションをはじめました。

現在、当院のリハビリテーションは脳外科や整形外科、外科、内科などあらゆる診療科からリハビリテーションの指示をいただいております。

「脳血管疾患等のリハビリテーション」「廃用症候群のリハビリテーション」「運動器リハビリテーション」「呼吸器リハビリテーション」の認可を受けていますが、今年9月から新たに「心大血管疾患リハビリテーション」の認可をいただきました。認定条件には、心臓リハビリテーションが行える設備と、心臓リハビリテーション指導士という認定されたライセンスが必要となります。

リハビリテーション室の中に、新たに心臓リハビリテーションを行うスペースができ、そこに運動負荷試験装置、呼気ガス分析装置、監視モニター、エルゴメーター、血圧心電図監視装置が導入されました。

心大血管疾患リハビリテーションとは、主に心

編集発行人／昭和三南総合病院 広報委員会

筋梗塞の患者様や、一定程度の呼吸循環機能低下のある心不全、狭心症、末梢動脈閉塞性疾患の患者様が対象になります。

運動負荷試験装置と呼気ガス分析装置を使って、患者様のAT(嫌気性代謝閾値)、つまり有酸素運動と無酸素運動の境を求め、その時の心機能、血圧、運動量、心拍数で運動処方を医師より処方していただきます。



運動負荷試験装置



血圧心電図監視装置

有酸素運動(エアロビクス)は心臓に負担を与えず、心臓の耐久性を高めることができます。その後、監視モニターと負荷装置を使ってリハビリテーションを開始いたします。有酸素運動でのリハビリテーションを続けると、再発が少なくなると共に心臓の機能がよくなり、生命予後の改善が見込めるのです。

県下でも心大血管リハの許可を受けている病院は少なく、当院は最新型の機器が設備されています。

これから期待されるリハビリテーションの新しい分野です。今後も他部門同様によりしくお願いいたします。